

8-4-42 品質向上専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動の目的

品質の確保・向上について、管理技術面からアプローチしたエラー防止策や業務成果の品質向上策を提案することを目的とした。専門技術面のエラー防止については、技術部会の各専門委員会資料を活用することで、より効果的な活動となることを目指している。

(2) 委員会の開催

- ・専門委員会の開催：11回

(3) 品質セミナーへの参加

- ・開催時期：令和5年11月2日～12日
 - ・開催地：オンライン形式（ビデオ配信）
 - ・主催：技術部会/品質委員会
 - ・参加者：全体で1,967名（内67名は発注者）
- 当委員会のプログラムは、第2講「国土交通省品質確保対策への対応」第3講「高評価業務の品質確保と向上への取組み」とし、30分及び50分の講演を行った。

(4) セミナーの評価（アンケート結果より）

セミナー参加者へのアンケートでは、発表内容は「非常に役に立つ」と「役に立つ」の合計が99%（昨年度99%）、講師の説明は「非常に分かり易い」と「分かり易い」の合計が98%（昨年度98%）と、昨年同様高い評価となっている。この評価は、ヒアリングで得た具体の事例に重点を置いた内容と、事前の準備に時間を割いた結果と考える。

自由意見では、下記のa)、b)や実務に直結する身近な事例がわかり易いという意見が多くあった一方、分野毎（道路、河川等）に分けて高評価点獲得のために創意工夫した点を紹介するなど、より具体的な内容を望む意見もあった。

- a) 国土交通省における品質確保対策7項目について、それぞれアンケート結果を具体的に報告されており、非常に理解し易い。令和4年と令和5年のアンケートを比較しての説明や、その結果を受けての国土交通省への要望と提案な

ど、項目ごとの説明で分かり易く拝聴できた。
b) 高評価業務のアンケート調査は非常に参考になる。受発注者共にWinWinの関係となるため、このようなアンケート調査は裾野を広げて行ってほしい。講義に活用した資料内容がチェックリスト方式で段階ごとにチェックする項目で整理されており大変参考になった。

(5) 品質向上施策の改善提案

業務スケジュール管理表や条件明示チェックシートなどの国土交通省と建コン協で実施している品質確保策に対して、施策の効果などに関するアンケートを実施した。調査結果は、整理・分析し、今後の改善点などを国土交通省との要望と提案に活用すると共に、調査結果を令和5年度の品質セミナーで会員企業へ紹介した。

(6) 品質向上推進ガイドラインの周知活動

令和3年7月発行の品質向上推進ガイドライン活用ツールについて、改訂版を令和4年11月に協会ホームページにて公表すると共に、品質向上策のアンケートや企業ヒアリング及び品質セミナーを通じてその活用方法等を会員企業へ周知した。

2. 次年度の活動

令和6年度は、様々な施策を展開しているものの毎年多くの設計エラーの報告があるため、「エラーの再発防止」をテーマに、各種施策の取り組み状況や照査実施状況、エラー発生の要因、再発防止策、技術力向上、人材育成など各企業の取組みに関して、アンケートとヒアリング調査を行い、品質向上との関連性を分析のうえ、とりまとめて令和6年度品質セミナー（11月開催）での発表を予定している。

また、次年度も会員企業の取り組みについて継続的な調査を予定しており、さらに品質向上推進ガイドライン（改訂版）の普及や品質向上に関する講習会の実施を検討する。

（品質向上専門委員会委員長 青木 毅）